

会報 しんせき

第 19 号

平成24年1月12日

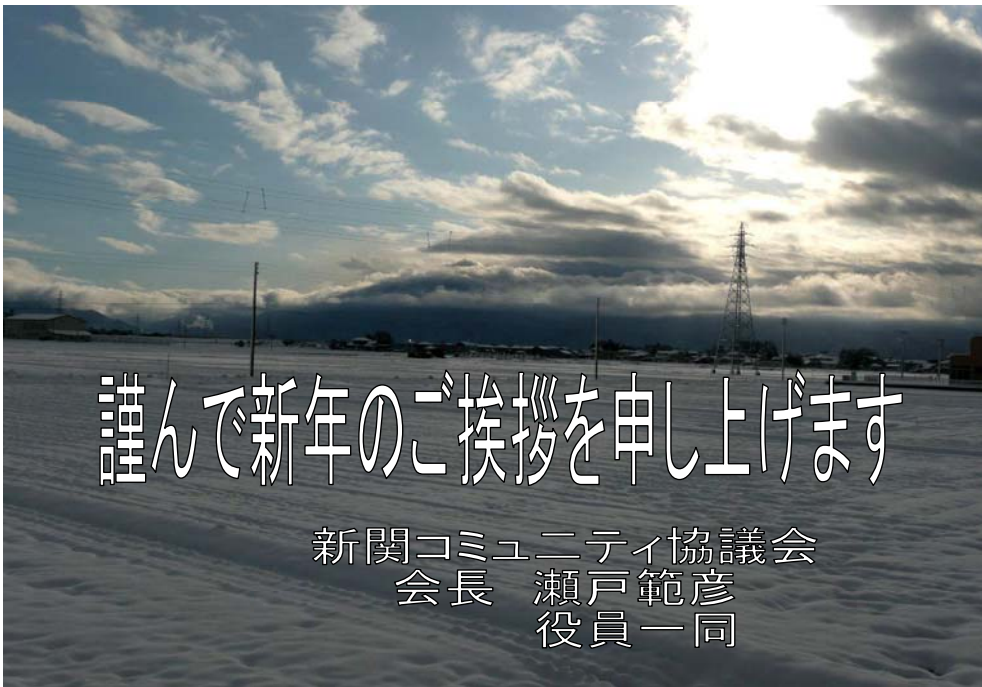
発行責任者

新聞コミュニティ協議会
会長 瀬戸範彦

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新聞コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 TEL0250-47-4640

(新聞コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)



謹んで新年のご挨拶を申し上げます

新聞コミュニティ協議会
会長 瀬戸範彦
役員一同

風もなくおだやかな平成二十四年の元旦でした。皆様にとってよい年となりますようお祈り申し上げます。

昨年の三月十一日に発生した東日本大震災は、日本中に深い悲しみをもたらしました。年賀状の文言に気を使われた方も多かったと聞きます。被災者の皆さまはどのように新年を迎えられたのでしょうか。新聞やテレビは、辛さを抱えながらも元気に復興に向けて一歩を踏み出された姿を取り上げていました。

年末から新年にかけて、「希望」「夢」「元気」「あした」「絆」「祈」「幸」「支えあい」「笑顔」「頑張ろう」などの言葉や文字が活字になっていきます。また、「ふるさと」を歌った曲が多く流れました。これらはみな被災された方々への励ましとこれからの日本人の心のありようを再確認しているように思われました。

景気も思わしくなく不安材料が多い世の中ですが、被災地の隅々まで力強い復興の土音が響きわたりますよう切に願っております。

新聞コミュニティ協議会は皆様のご理解とご協力をいただいて活動をしています。今年も「笑顔と元気と夢」をお届けするために頑張ります。何卒よろしくお願いたします。

世代間交流事業

12月4日 文化教養部主催

ちびっこイキキ！ 大人にここにこ！

クリスマスツッキング教室開かれる



ケーキ作りは特に熱が入りました

◆クリスマスを目前に控えた12月4日(日)、恒例のクリスマスツッキング教室(世代間交流事業)が、新聞小学校の家庭科室で行われました。

◆ケーキ作りはもちろん、ご飯やスープ、おかずづくりにも挑戦。

◆食生活改善推進委員さんやボランティアさんの指導のおかげで手際よく調理が進みました。

◆みんなで会食。ケーキのおいしさ抜群。クリームがほっぺにも.....



世代間交流の場面がいっぱい見られました



1月11日

新聞小学校では、冬休み明けの1月11日、校内書初め大会を行いました。

1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆。毛筆のほうは、日頃の先生の教えをもとに大きくたくましい文字に挑戦しました。

作品は、新聞小学校や新聞コミュニティ協議会に展示されます。

今回は、新潟地区公民館と新聞コミュニティ協議会も応援いたしました。公民館からは各学年に記念品も渡されました。



校内書初め大会

新聞小学校
全校児童が心を込めて



紹介

各自治会の

自主防災への取り組み

新関の自主防災組織は8つの自治会からなっています。取り組みの基本は新関コミュニティ自主防災(新関コミ協)が主体となります。しかし、コミ協だけでは難しい面があります。各自治会の置かれている状況がそれぞれ異なるからです。(山や川、平野などの地形、自治会の考え方等々)

そこで、防災訓練やマップづくり、要援護者の支援や見守り活動などに自治会単独でも取り組んでほしいとお願いしました。

そんな中で、小口自治会や六郷自治会の取り組みの様子を紹介します。

尚、他の自治会でもマップづくりなど意欲的に取り組まれました。

◆小口自治会では

6月25日、秋葉区安心安全課の職員を招き、要援護者に対応するための隣組長会議を開催しました。10月16日には、お年寄りを対象とした防火訓練を実施し、消火器の使い方を実験しました。



◆六郷自治会では

10月8日に自主防災訓練を実施しました。当日は、秋葉区社会福祉協議会職員竹石さんによる講話。

また、六郷地域の防災マップ作りや炊き出し訓練を行いました。



避難所運営 研修

午前の訓練・講話に続き、午後からは避難所運営研修(ゲーム)を実施。避難所にはいろいろな状況を抱えた避難者がやってくる。たとえば、病人、お年寄り、妊婦、ペットを連れて来た人、近くを通りかかった地域外の人……。これらの方をどのように新関小学校の体育館に受け入れるのか。

また、非常食や救援物資、仮設トイレの配置場所、避難者名簿の張り出し場所、駐車場仮設の風呂、プライバシーの保護などどのように対応するのかなど講師の李仁鉄さんから多岐にわたっての問題が出されました。7班に分かれた参加者は、大いに悩みながら研修してくださいました。



7班に分かれての研修



指導講話：区社協様、区健康福祉課様

今回の訓練は、避難所運営マニュアル作成において大変示唆に富んだ内容となりました。

これらを参考に、新関小学校が避難所となった場合を想定した避難所運営マニュアルを作成していきます。

防災 特集

自主防災訓練(研修)開催 (11月27日)

地域の安心安全作りは、重要施策の一つです。中でも防災に向けた体制作りは急務です。新関コミュニティ協会は、自主防災に取り組んで3年目を迎えました。

今回は、新関小学校が避難所となった場合を想定し、いざという時に備え、避難所運営マニュアルの作成を前提とした自主防災訓練(研修)を行いました。

当日は、講師及び指導者として、李仁鉄様(にいがた災害ボランティアネットワーク事務局長)をお招きし、秋葉区総務課、健康福祉課、並びに秋葉区社会福祉協議会の皆様からもご指導ご援助いただきました。また、新関小学校からは本間教頭先生、大花教務主任、五十嵐地域教育コーディネーターさんからも参加していただき、新関コミ協と新関小学校とが連携した自主防災の取り組みの第一歩となりました。

自治会役員、自治会自主防災担当者、民生委員、消防団、ボランティアなど多くの皆様、ご多用の中差し繰ってご参加いただきありがとうございます。感謝申し上げます。

(訓練・研修の概要)

- 地震発生
- 災害対策本部設置
- 避難所開設
- 避難者受付と名簿の作成
- 本部役員自治会長対策会議
- 研修の開会式
- 講演
- 炊き出し訓練
- 避難所運営研修と質疑
- 閉会式
- 新関小学校体育館見学
- 避難所解除



避難者受付模擬訓練



講演する李仁鉄さん



炊き出し訓練

